



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第106号 発行日/2011.12.5
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾情報部会
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150
〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

心ひとつに復興願う フェスタ 2011

東日本大震災復興のメッセージを込めて10月2日(日)に開催された「百年塾フェスタ2011」は、昨年を大幅に上回る約10,000人の来場者があり

ました。会場が一つになって被災地に思いを馳せた復興セレモニーをはじめ、たくさんの団体や子どもたちの参加で、連携の力の大きさを感じたフェスタでした。

元気をくれた子どもたち

今回の「百年塾発! 東日本大震災応援フェスタ2011」では、震災に負けない元気な姿を見てもらおうと、たくさん子どもたちが参加しました。

オープニングの『日立風流物西町保存会支部子供鳴物』による力強い太鼓演奏や総勢150人が舞った『ひたち舞祭』、『日立市子ども会育成連合会』の桐生八木節踊りの発表などがフェスタを盛り上げました。

『ひたち舞祭』の子どもたちは、中止になったさくらまつりの代わり



元気に「舞祭」

に踊る機会ができたことや、たくさんのチームが一つになったことなどが嬉しかったそうです。

また、メモを手にとり会場を取材して歩いたメディア少年団の子どもたちや、各コーナーで応援してくれたボランティアの高校生、しっかりと活動発表をした百年塾推進部・校の子どもたちの姿も、人々に勇気と希望を与えてくれました。



犠牲になられた方へ全員で黙祷

2時46分、届け復興への思い

「応援のメッセージを書こう」のコーナー、会場内2カ所に設けられた義援金の箱、震災パネルの展示をはじめ、午後には復興応援のセレモニーがありました。

参加者全員が広場に集まり、平和の鐘を合図に黙祷を捧げました。続いて2時46分には、被災地に向

けて「ふるさと」などを合唱しました。震災復興を願ってみんなが心一つにした歌声が新都市広場に流れ、人々からは「胸が熱くなった」「この思いが届いてほしい」などの声が聞かれました。

また展示された震災パネルは日立

市内の被害の様子が撮影されたもので、多くの来場者が見入っていました。豊浦の津波の様子を撮影したDVD放映もあり、来場者は津波の恐ろしさを改めて思い起こしたり、日立市も被災地であることを認識させられたと話していました。



震災パネルに見入る市民

ご協力

ありがとうございました!

フェスタ2011でみなさんにご協力頂いた善意の募金は46,938円でした。

百年塾は11月18日(金)、柴田彪百年塾副本部長たちが市長室を訪れ、吉成明日立市長に日立市復興応援寄付金として届けました。

日立市のまちが、さらに元気で魅



力あふれるまちになるためのお役に立てればと思います。

独身男女の出会いを応援!

百年塾では、独身男女が料理やゲームを行いながら自然に交流できる出会いの場を提供しています。

交流パーティー開催は2012年2月に予定していますので、気軽にご参加ください。詳しくは、2012年の市報の募集記事で。

きっかけづくり、情報提供……百年塾が応援します

安心・安全な『地魚』を食するために

放射性物質による食物の安全性が問題になっている今、市の重要な産業である地元の魚の安全性について市民によく知ってもらおうと、10月23日（日）多賀市民プラザで「安心・安全な『地魚』を食するために」と題した講演会を開催しました。

第1部は水産庁増殖推進部研究指導課研究管理官の森田貴己さんによる「水産物における放射性物質について」です。森田さんは研究所にお



関心の高さがうかがえる

ける調査内容として、調査対象魚種、問題となる放射性元素とその海洋中での動きと濃度、魚体サンプル

の測定方法などを詳しく解説。結論としては、魚体内中に入った放射性セシウムは体外に排出されるので蓄積し続けるわけではないとのことでした。

第2部は茨城県農林水産部漁政課技佐の大森明さんが「県内水産物のモニタリングについて」報告。県で行っている県内の水産物の調査内容について対象物やモニタリングの状況の説明があり、今後も検査は継続

彫刻めぐりでまちの楽しさ再発見

日立のパティオモールにはユニークな彫刻がたくさんあります。しかし、日常歩いていながら案外ひとつひとつを丁寧に眺めたりすることがなかったり、また彫刻があることも気付かずに通り過ぎてしまうことも多いかもしれません。

そこで百年塾人財部会では、日立のまちの楽しさをもっと知ってもら

生涯学習のきっかけづくりや支援をはじめ、百年塾では市民のみさんのさまざまな活動を応援します。

して行われると話しました。

定員を上回る153名の参加者からは、「内容は分かりやすく、もやもやしていたものがすっきりした」との声が。また、「これで安心というわけではなく、今後も監視を続ける必要のあることを痛感した」「農産物についてもこのような機会をぜひ設けてほしい」との声が寄せられ、関心の高さとうこうした講座の継続を望む様子が窺えました。

おうと10月2日（日）に行われた百年塾フェスタ2011で、日立のまち案内人による「パティオモールの彫刻めぐり」を企画しました。

彫刻は7つで、子どもの愛らしい表情や姿を表現した作品が多く、それぞれに「みちくさ」「シャボン玉」「平和」「水の音」「風」「或る夏、奇蹟のために」のタイトルが付けられています。



古代石で作られた招きモルちゃん

また、「招きモルちゃん古代石像」はパティオモールのほかに、ぎんざもーる、まいもーるにもあり、3体とも日立市で発見された約5億600万年前のカンブリア紀の古代石を加工して作られているそうです。モルちゃんは3体各々の御利益があり、愛らしい姿が子どもたちにも人気です。「彫刻めぐり」は大変好評で、参加者からはまちの楽しさを再発見できたとの感想が寄せられました。あなたもぜひ一度訪ねてみてください。

※「ひろば」では次号からシリーズで、まち案内人によるひたちのおすすめ場所を紹介していきます。

大久保小PTAの広報相談 熱心さに時も忘れて

百年塾情報部会では、引き受け手が少ない小・中学校PTA広報委員会を支援しようと、年間を通して出前広報相談を実施しています。

年度当初にPTA広報委員のための『広報セミナー』を開催していますが、各PTA広報委員会のメンバー全員で受講することは難しく、いざ編集という段階になると戸惑ってしまいます。この状況を支援しようとPTA広報委員会からの要請で出前で広報の編集などの相談に応じている事業です。

11月8日（火）、大久保小学校PTA広報委員会の広報紙編集の応援に、西村ミチ江副本部長と黒澤秀子部長が出向きました。

2学期終了時に会員に配布される

広報紙は全8ページで編集されており、広報委員がレイアウトした紙面へのアドバイスをしました。安全の講演会記事が掲載されるページの整理、見出しの付け方、写真の配置とトリミングの仕方、写真のキャプション、罫線の使い方、読みやすい記事の流し方など、編集作業をしながら分かりやすく解説しました。

忘れないうちにと、即座に文章やレイアウトを修正していく熱心さと思わず力が入る4時間でした。



お疲れさま。次号も頑張ってください！

日立少年少女発明クラブが快挙

ものづくりの体験を通して科学への興味関心を育てる日立少年少女発明クラブが、8月22日に前橋市で行われた『第12回まえばしロボコン2011』で、優勝と同時に数々の賞を獲得する快挙を達成しました。

小学3年生から中学2年生の48名のクラブ員がいる同クラブは、青少年ホームで毎月1回の全体活動を中心に活発な活動を行っています。

中でも毎年8月に開催される『まえばしロボコン』（主催：前橋市・前橋テクノフォーラム）は、子どもの部・中学生の部・一般の部があり、各地の精鋭が集まって自分たち



自作のマシーンを手に

が作り上げたマシーンの性能と操作の腕を競います。同クラブも毎年出場し優勝をめざしてきました。

しかし、競技中のマシーンのト

ラブル等で悔しい思いをしたことも何度かあり、出場する子どもたちをはじめ指導員の先生たちも、大会が近づく夏には一層準備に熱が入ります。

そのような努力が実を結び、今大会では出場137組の中で子ども・中学生の部とも優勝を成し遂げたばかりか、中学生の部はアイデア賞、

コミュニティ推進会への提案講座が順調に

百年塾ではコミュニティとの協働事業を進めようと、5つの部会が得意分野で講座を企画、実施費用の支援をしながらコミュニティ推進会へ「役立つ・楽しい講座」を提案してきました。

これを受け7つの学区コミュニティ推進会が、今年度の生涯学習講座の1つに位置付け提案講座を実施しています。6月21日の中小路学区コミュニティ推進会からスタート、8月23日は会瀬学区、9月19日は中里学区、10月19日は塙山学区、11月20日は田尻学区が実施しました。今後、1月31日に仲町学区、2月2日には大久保学区で実

子どもの部はアイデア大賞をも勝ち取りました。

表彰式でのインタビューで子どもたちは優勝の喜びとともに、「優勝すると会長（柳橋弘明会長）が鰻重をご馳走してくれます」と答えるなど、実にのびのびとした様子で会場をわかしました。

活動理念にものづくりと人づくりを掲げる発明クラブの子どもたちの今後の成長が楽しみです。

施されます。

担当のネットワーク部会では推進委員が手分けして実施するコミュニティ推進会を訪問しながら講座の様子などを確認、ネットワークの広がりにも期待しています。



塙山学区の地魚料理



田尻学区のキムチづくり

シリーズコミュニティ訪問⑤ 豊浦学区まちづくり推進会

10月に開催した「百年塾フェスタ2011」で『なかまるしえ』を会場に、東日本大震災のパネル展示と同時に、清水啓志さん（川尻町）撮影の豊浦学区の津波被害の状況を映像で紹介してもらいました。

当時の状況を聞きたいと豊浦交流センターに、山田孝志会長、立川伸平副会長、斉藤清人副会長、佐々木春夫事務局長を訪ねました。

3月11日の大津波は、町の中と十王川を遡り周辺に浸水したとい

が、いち早く隣近所や一人暮らしの人たちの安否を確認、住民はそれぞれ身近な第2次避難場所（豊浦小、豊浦中、日立北高）に避難しました。

灯りが無い、トイレの水が流れない、食事が届かない等の問題に、発電機、灯油、米等を借り、水くみや



炊き出し：女性や防火クラブ大活躍

炊き出しをするなど、先生、自主防災会のリーダー、地域の消防団、避難した人たちが力を合わせて避難所運営をしたと言います。

自治会や町内会を脱会する現象が起きて、近所のつながりも希薄になりつつあるが、普段の付き合いが重要だということを再認識することになったようです。震災後、地区毎に決めている避難場所の見直しや、民生委員が井戸のある家を調査するなど安全への関心も高まっているとい

います。この震災で団結した地域力で、今年は中止した「夏祭り花火大会」の来年度の復活が期待されます。



百年塾ひろば

「百年塾ひろば」を充実させるために、市民の皆さんのご意見や情報をお寄せください。



子どもたちの太鼓で幕あけ



ホッとするフラダンス



新商品の試食コーナー大人気



おもちゃづくりにチャレンジ

元気に！

「百年塾フェスタ2011」

シビックセンター、マープルホール、新都市広場、「なかまるしえ」などを会場に開催しました。

東日本大震災後のということもあり人出を心配しましたが多くの人が会場を訪れ、ものづくりコーナーやうまいもん通りなどは大盛況でした。



手作り大好き



20店舗のフリーマーケットの出店料も復興応援寄付金に。



エコキャンドルで被災地応援



親子で楽しく



パソコンでグループ探し



中学生も先生

私たちは百年塾運動を応援します (敬称略) 2011.9.1~2011.11.16

【団体】 藤和建設(株) (株)日立ライフ 日立南ロータリークラブ (株)日青プラント 八方寿司 (有)自由工房 (株)白土工務店 (株)JWAY 日立市建設業協会 たらふく亭 日立健康麻将教室一同

【個人】 杉江由美 朝日正子 門馬正和 桑原洋子 佐川雅一 高橋文子 今橋知江 須田久美子 小沢ゆき

佐藤善祐 星野芳枝 表築子 稲村 法 佐藤世津子 本柳粹子 八重樫 修 大高てる子 平井強 和田克夫 船原敏子 永沼みち子 堀三千男 桑名勇次 山野邦雄 初鳥小百合 荒川かつ子

百年塾協賛金にご協力を！

●個人 一口 1,000円

●団体 一口 5,000円

※お問い合わせは百年塾サロンまで

市民教授 (新登録)

2011.9月~10月に登録の方(敬称略)

- 吉成ます 滑川本町(手工芸 笠地蔵)
- 代永英雄 東大沼町(クラシックギター・ウクレレ)
- 宮澤孝子 川尻町(家庭料理・和漢膳)
- 長谷川知子 中成沢町(ベビー&キッズマッサージ)
- 木博博 川尻町(ナチュラルチーズの紹介・楽しみ方)